

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2024 年	5 月	30 日	(記入者) 三谷 尚彦	
取材参加者	石井	井本	西田	三谷	本井
	横山				
取材対象先	奈良市：長尾神社の能舞台				

所在地	奈良市阪原町1625番地				
所有者(取材 対応者)名	長尾神社 宮司 ***様		連絡先 ***		
	(個人情報守秘)		PCアドレス		
取材申込	申込先・行政名など：長尾神社宮司 ***様				
市町村 指定文化財	彫刻 軀	名称(指定年月日)			
	建造物 1棟	長尾神社能舞台 2019(平成31)年3月26日指定			
文化財指定理由	奈良市東部地域に分布する茅葺の舞台形式の建物のうち、舞台、橋掛、楽屋からなる整った能舞台の形式を伝える唯一の遺構であること。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	火災報知器は設置されており、消火器も近くに配置されている。神社全体にもカメラや警報器が設置され、消防点検も定期的に行われている。	本殿が春日移しの建物で重要文化財になっており、神社全体の防犯防火対策は整っている。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	茅葺屋根の茅をカラスが引っ張っており修復が難しい。イノシシ、鹿、アライグマ、サルなど出没。イタチも住んでいる。糞害が悩み。	カラス除けを考えているが難しい様子。監視して被害の拡大を防ぐしかない。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	現在長尾神社の氏子は阪原地区の100戸弱。普段は氏子総代3名の他計5名で活動をしている。毎月1日の月次祭前に掃除をしている他、春秋に村全体で村の清掃をしている。10月の第2土日に例大祭が村をあげて行われるが大人25人子供12人の所役の他、ふとん太鼓の担ぎ手が40人必要。地域の方の参加も減ってきていて運営が大変とのこと。神社には末社が多くあるが本殿の補助金以外は出ないので全体の維持管理も大変で本殿の20年毎の造替もできず修理が精一杯。能舞台も奈良市と打合わせて補修したが、市の文化財指定で貴重なものだということが地域の方々に知られるようになったのは良かった。地域の人口減少が今後の課題。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

***宮司は、代々続いている宮司の家系でいくつもの神社を兼務しているとのことだが非常に熱心に説明していただいた。長尾神社は由来不明ながら古くから地域の人々に信奉されており、秋の例大祭も盛んなようだが、地域の過疎化と生活様式の変化による担い手不足は深刻になっている様子。地域の方たちの努力はあるが、文化財指定されていない建物も多く神社全体を維持する費用捻出も難しくなる一方で、能舞台を含めた文化財の末長い維持管理は難しい課題と感じた。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2024 年	5 月	30 日	(記入者) 三谷 尚彦	
取材参加者	石井	井本	西田	三谷	本井
	横山				
取材対象先	奈良市：長尾神社の能舞台				

(写真撮影は許可済)

文化財指定名 長尾神社能舞台

文化財 (全体写真)	文化財 (角度を変えて、写真)
	
文化財 (角度を変えて、写真)	気になる部位の写真
 <div data-bbox="513 947 676 1010" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">天井裏</div>  <div data-bbox="300 1211 389 1263" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">楽屋</div>	 <div data-bbox="836 1301 1254 1339" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カラスの害、イタチの侵入口</div>
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入
<p>能舞台は明治年間の建立で付属の楽屋と橋掛は昭和前期のもの。舞台は桁行1間梁間1間の入母屋造茅葺、楽屋は桁行2間梁間2間の切妻造棧瓦葺、橋掛は桁行1間梁間1間の両下造棧瓦葺。2019(平成31)年3月に奈良市指定文化財となった後に屋根や楽屋周りの修理をした。能舞台は秋の例大祭の時に祭壇として利用されている。社宝に室町時代の能面があるので昔は能が舞われたかもしれないが、今は県立美術館に保管されており能が舞われることはないそう。</p>	<p>創建・由緒は詳らかではないが古くから氏神としてこの里に祀られている。御祭神は「燭速日命」(一般に言う饒速日命と字が違うが由来は不明)で、庶民安楽と五穀豊穰を御神徳としている。特に悪病退散の守護神として、人々が恐れる「ウルシ」の生木を箸にして食べられたことから今も「ウルシ」の箸を添えてお供えをしている。春日移しの本殿(国重文)の他、御霊神社と末社十一社が祀られ、社宝に室町時代作の能面四面がある(県指定文)。10月の例大祭では「神拝」「角力」という特色ある神事芸能が、この能舞台と御旅所の南明寺とで奉納され、里中で行列も行われる。</p>